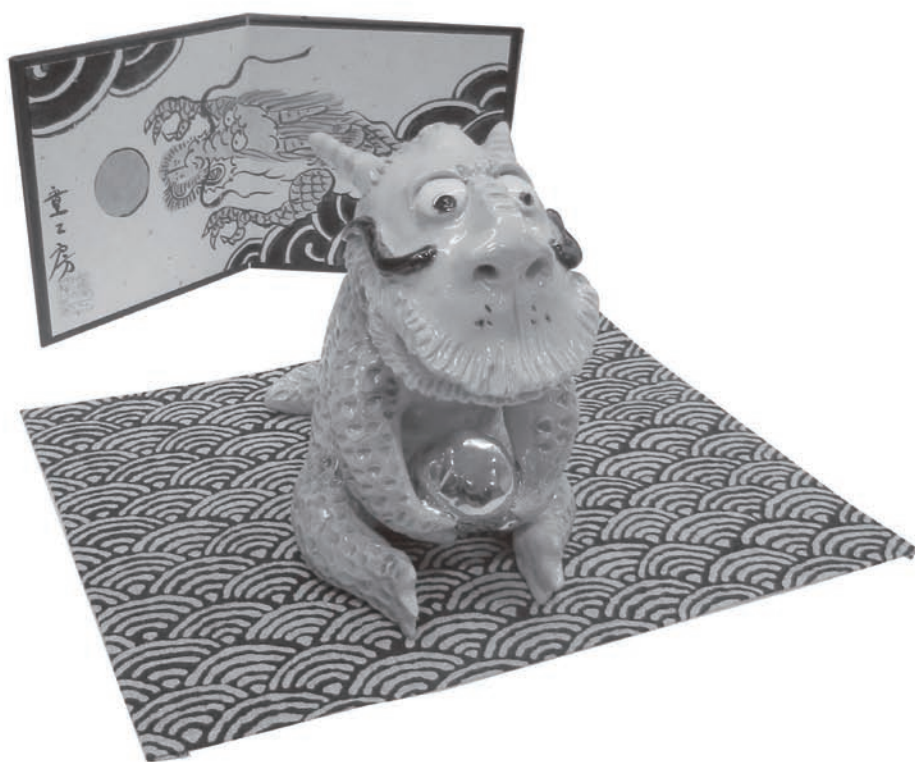


human

No237

2012/1

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「辰の置物」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

新年を迎えて

院長 小林 勝正

昨年の一大事といえば、3月11日に発生した東日本大震災であった。当初、ニュースで流れる映像がコンピュータグラフィックで作製された映画を観ているような錯覚にとらわれた。この世のものとは思えないような映像は、現実の情報となつて入ってきた。津波にさらわれた人達が遺体となつて1000人2000人と浜に打ち寄せられたとの情報である。警察庁通達で法医学会が動いたのは震災直後からであったが、私にとってその話が現実化したのは1ヶ月後であった。福島第一原発周囲の放射能レベルが下がり、自衛隊が現地へ入れ

るようになったとの情報と、若い医師が放射能汚染を嫌つて、原発周囲へ行かない情報である。そんな時、中部地区を管轄する新潟大学の山之内教授からメールが入った。ためらう事無くその要望に応え、福島へ向かった。おりしも1週間前に福島まで東北新幹線が開通し、私の赴く2日前に仙台まで復旧した。そんな中で、飯館村を通り、南相馬市に入った出来事はその後の半年間の私を変えらるきっかけとなった。今でこそ有名な原発周囲の街、大熊町・浪江町・双葉町から運び出される遺体を検案しながらその悲惨さを体感した。6月に日

本法医学会が福島市で開かれるきっかけもあり、学会前に石巻市と気仙沼市に死体検案に行ったのも更に追い討ちをかけるように被災者に寄り添う気持ち強くしたきっかけとなった。

平凡な日々を送っている内に人は贅沢な気持ちになり、不平不満を言うようになる。また、変化のない毎日を嘆くようになる。しかし、この東日本大震災で被災した人と被災しなかった我々との間に白と黒という大きな隔たりができてしまった。被災しなかった我々としてはこの寒い冬を過ごしながら、不自由な生活を送る被災者の人と風評被害に悩む人、復興が遅々として進まず仕事に戻りたくても戻れない人、それらの人々と比べるとどれだけ幸せである

うか不平不満など言っている暇はない。被災地に対して少しでも出来ることをなるべく早くに協力して1人1人の力は微々たるものであつても心の絆が広がることにより、大きな動きとなることを確認した。

今年も福島・宮城など、私が現地で目の当たりにした被災地の人々に少しでも助けとなる行動が実行できればと思います。

東京都は石原知事の下、500体の遺体を火葬に付し、ガレキをも受入れました。批判は色々あるとは思いますが、自分や自分の家族が大切な気持ちも十分分かります。しかし、それ以上に被災地の人々は苦しんでいます。

我々も口先だけではなく、行動で被災地を支えましょう。

年末年始

外科部長 小林 豊

あれは2003年を迎えようとしていた年末だった。12月30日に臨月の妻と東京はお台場のスポーツ用品店にいた。病院のゴルフコンペは日頃練習もせずにもいつも玉砕であったが、道具でなんとかなるのでは？と一縷の望みでドライバーの試打をしていた。妻はなんかお腹の調子が悪い、と顔をしかめてトイレを往復していたが、「しつこい便秘だね」と消化器外科医の夫はさらりと流してドライバーを無心に振っていた。いつもコンペの前日しか練習しないくせに、ゴルフ用品店に行く、「今後は週に2-3回練習に行く」という気になり、店員さんに沢山練習するならこれですよ！という根拠のない仮定の下にドライバーを買った。

こうなったら年末年始は練習するぞ！と意気込んでいたが、まずは充電！と床についた。日付変わって大晦日の午前3時のことだった。一様子がおかし

い」という妻。10分置きにトイレに行っている、という。「なんだ、下痢か？」と消化器外科医。「これが陣痛かも」と妻。私も妻も初めての陣痛だったの、陣痛がなんたるものかよくわからなかった。慌てて病院へ車を飛ばすと、そのまま陣痛室なる部屋へ案内された。勤務している病院ではなかったからではなく、慣れない出来事に、普通の患者さんのご家族と同じようにオロオロしていた。消化器外科手術後の患者さんの創りとは慣れていたが、陣痛の唸りと悶絶の前に、全くなす術もなかった。

そんな居心地の悪い陣痛室で約9時間経過して、妻は分娩室へ移動された。その病院では、家族は分娩室に入ることはできなかつたが、陣痛室の前の細い廊下の向いで、ドアは開いており、妊婦の背中越しの様子はどうかがえた。女性の唸り声が周期的に聞こえたのち、それが母親の雄叫びに変わった瞬間、赤黒い塊がでて来た。大晦日産まれである。誰しもこの瞬間、おぎゃ〜、という新たな生命の誕生を知らせる初めての自己主張を期待するものである。し

かしながら、我が子は誕生の間、その自己主張ができなかつた。誰を威嚇しているのか、「ウ〜」「ウ〜」と唸っているのである。おまけに呼吸数が多すぎる、と。担当の女医さんがペンペン！と赤子の背中を叩いたが、唸り声に変化はなかった。

「一過性だと思えますけど、多呼吸です」という女医さん。とよつて自分で気道に圧をかけて肺を膨らませようとしているのです。」と。「年末年始でばたばたと行けないので、念のためにNICU(乳児集中治療室)に入れてもいいですか？」と女医さん。「その方が安心ですね。」ということ、周りに片手に乗るくらいの人工呼吸器でなんとか呼吸している数百グラムの超未熟児に囲まれて、我が子はでんとその3046gの体を保育器の中に所狭しと横たえていた。最初はどうなることか、と心配したが、半日もすると唸りは治まり、普通の赤ちゃんとなった。通常ならその時点で一般病棟に移るところなのだが、年末年始は原則転棟しない、ということになっていたので、年明け三

が日までNICUということになった。

一般病棟では、父親の面会は授乳室の窓越しで、時間もかなり限られていたのであるが、NICUは重症患児ばかりのため面会は24時間でき、また直接触れることもできた。外科医は普通の時間に他院に面会に行けるわけがないため、NICUにいたお陰で何度も会えた。ただし、呼吸が落ち着いてからは、他と違い普通の大きさの我が子は、場違いというか、他の親御さんのお心持ちからすると、申し訳ない気持ちにすらなつた。この年は年末年始で唯一休みが取れたのが大晦日であったので、そこを狙い撃ちして出て来てくれて、唸り散らしてNICUの席を勝ち取るあたり、なかなか図々しい親孝行であった。以来、毎年、大晦日の当直は免除いただいて来たが、その代わりというわけではないが、毎年元旦の当直は買つて出るようにしている。今年も元旦は自発的に当直とした。病院スタッフと新年を迎えることで、一年間の意気込みを誓う年初であった。

ごあいさつ

麻酔科 酒井 大輔

初めまして、12月より当院麻酔科に赴任しました酒井大輔と申します。これまで約3ヶ月の間、非常勤として勤務させてもらいながらこの12月から常勤となりました。その間に垣間見られたことは、すべてのスタッフの表情が豊かな事で、それはここの職場環境が良いことの表れだと感じ、ますます期待が高まりました。麻酔科といってみなさんはどのような診療科でご存じでしょうか。手術はとても大きなストレスですが、手術している間は患者さんが眠ったまま、そして痛みの無いまま安全・快適に過ごせるように全身麻酔を主な業務として行っています。また、硬膜外麻酔、神経ブロック、持続静脈内麻酔、創部浸潤麻酔などこれらを適宜組み合わせる事によって術後鎮痛も積極的に行っております。まだまだ不慣れなところも多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。

麻酔科 和田 直樹

平成23年12月より大学からの同期である酒井先生とともに麻酔科常勤医師として赴任しました。医師6年目の和田直樹と申します。

平成18年に岐阜大学を卒業し、岐阜県の木沢記念病院で研修医を含む約4年半を過ごし、近畿大学での麻酔の研修を経て、今回新たにお世話になることとなりました。

目標は2つ。一つは手術中の安全、術後鎮痛などで、患者さんが楽な麻酔を行い、麻酔が終わった後で、手術が終わったことに気づかないような麻酔をかけたいです。そして「さくら総合病院で麻酔をすると楽だ」と言ってもらえるようになったら嬉しいです。もう一つは、手術室の運営を出来るだけ効率よくまわし、就業時間内での手術件数の増加と、脊椎麻酔を含め、自家麻酔の割合を減らしていくことです。この二つで皆様に貢献できたらと考えています。

プライベートでは、車(特にスポーツカー)、野球(中日ファン)、スキーが大好きで、それ以外でも、とにかく体を動かすことが好きです。もし、同じ趣味の方がいたら、是非お話したいです。そして、ドライブに、スポーツに誘っていただけたら嬉しいです。業種を問わず、気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします。

第2回

さくら総合病院 市民公開講座

『地域のために総合病院ができること』

開催日：2月11日(土)
時間：受付 9時～
開始 10時(所要時間2時間半程度)
場所：大口町健康文化センター
「ほほえみプラザ」4階 ほほえみホール
TEL:0587-94-0061



参加費：無料
事前申し込み：不要
講演内容：①開会の挨拶……………院長 小林 勝正
②私たち臨床検査技師です～「看護婦さん」と呼ばないで～ …… 臨床検査科 新井 一輝
③消化器系のがんについて～本当にみんなは大丈夫ですか?～ …… 外科 小林 豊
④これであなたも減塩の達人～塩が少なくても美味しいよ!～ …… 栄養科 馬場 千尋
⑤相談員ができること～よりよい老後を目指して～ …… 連携相談部 長洞有佳子
⑥閉会の挨拶……………外科 小林 豊

その他：飲み物を無料配布致します!
血圧・血糖測定コーナーもございます! 是非、ご参加ください。

お帰りのバスについて

- 大口町コミュニティバス
 - 北部ルート 柏森駅方面12時25分発
 - 南部ルート 布袋駅方面14時23分発
- さくら総合病院巡回バス
 - 楽田駅方面12時30分発

主催：さくら総合病院
お問い合わせ：さくら総合病院 医療連携室 0587-95-0015
HP URL:<http://www.ijinkai.or.jp> Mail:sakura-renkei@ijinkai.or.jp

1年前の12月でした。当時勤務していた病棟の看護師長は私の爪のジェルをみて、「あなた、マニキュアしてるわよね?」と呼び出しました。マニキュアはしてません。ジェルというものです。と返事しましたが、当然ながら、ジェルとは何か知らない師長なりに、いろんな理由を掲げ、私の爪を自爪に戻そうとします。最終的な理由は「とにかく光ってちゃだめなのよ」という理不尽きまわりないものでした。堂々巡りの果てに提案しました。ジェル取ります、もし、医療現場において、根拠に基づいた理由があるならば。私も、ジェルがいけない理由を探しつつ、ジェルがいかに日常生活を始め、医療現場に有効か、根拠をもってきますと。切っ掛けはこんなことでした。

確かに、ジェルがいかに日常生活や医療現場において有効か根拠を提示したとしても、そこで、やってもいいか否かは別問題だと分かってはいました。日本という、世界のどこの国と比較してみても、風習や周囲の評価に重点を置く文化があるため、風紀というポイントはどういう理由であれ、クリアするのは限界があるでしょう。

しかし、医療現場において、感染拡大防止=人命にかかわるほど、有効な理由があるとしたら、それを立証して、理不尽な理由から、自分の身を守ることも許されない現場を変え、私と同じ体験をしたことのある、もしくは今後も私と同じ体験をするだろう、全国の看護師を救いたい。と思いました。

この企画に、ご賛同いただきました、さくら総合病院院長先生を始め、上層部の方々には、感謝という言葉しか見つかりません。院長先生方のおかげで、今、さくら総合病院の70人近い職員の方々が、医療業界には御法度とされてきた、爪のケアという分野に注目して下さった事実を無駄にしないよう、ネイリストと共に努力してまいりますので、皆様のご協力、どうぞ宜しくお願い致します。



2012年を迎えて

有料老人ホーム 太郎と花子 事務長代行
市橋 和也

太郎と花子にとって2011年は2期オープンを迎えた記念すべき年でした。入居されている方にとっても、本年初めて太郎と花子にて年を越された方が多数お見えになります。

入居の際に、施設でお暮らしになる事での希望をお聞きさせて頂いております。

「お友達をいっぱいつくりたい。」、「リハビリをおこない今より動けるようになりたい。」、

「安心して暮らしていきたい。」等々、ご希望をお持ち頂き入居されてきます。

皆様にとって、希望通りの生活を送って頂いているでしょうか?

私たち職員は、入居者の方とともに成長し、人生の先輩から様々な事を学び教わりながら、日々勉強の毎日を過ごさせて頂いております。

そして、介護を通じて、その希望どおりの生活を送って頂ける様に職員一同、邁進して参ります。

まだまだ発展途上の施設ではありますが、「質と量で日本一!」と胸を張って言える施設にする事が、私の希望であり、使命でありますので至らぬ点をご指導頂ければ幸いです。

本年も太郎と花子を宜しくお願い致します。

診療科表

平成24年1月1日現在

	午 前 9:00~12:00										午 後 5:00~7:30												
	消化器病 外傷 セクターF	循環器 呼吸器 総合内科 セクターF	運動器 形成 セクターF	脳神経 外科	神経 糖尿病 感染症 セクターF	子ども女性疾患 セクター2F	女性疾患 セクター	ペイン クリニック セクター	皮膚疾患 セクター	耳・喉・ 鼻疾患 セクター	腎尿路 疾患 セクター	眼の 疾患 セクター	消化器病 外傷 セクターF	循環器 呼吸器 総合内科 セクターF	運動器 形成 セクターF	脳神経 外科	神経 糖尿病 感染症 セクターF	子ども女性疾患 セクター2F	女性疾患 セクター	ペイン クリニック セクター	皮膚疾患 セクター	耳・喉・ 鼻疾患 セクター	腎尿路 疾患 セクター
月	○	○	○	○		○ 受付 11:45迄		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
火	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
水	○	○	○	○		○ 9:00~ 11:45		○	○	○	○	○	○	○	○					○ 受付 17:30~ 19:00迄	○	○	○
木	○	○	○	○		○ 受付 11:30迄		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
金	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
土	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								
日	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○								

- ※1 休診日もございます ※2 第2、第4は予約診療となります
- 診療時間に関しては受診されます診療科目により異なります
- ご不明な点がございましたら職員に確認してください
- 診療日が変更になる場合があります ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)
 human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2012年1月1日
 No.237 丹羽郡大口町新宮1129 発行部数 350部